



太陽凝視で 松果体が活性化すれば、 人の意識が覚醒する

——飯山一郎

取材・文・写真 丹波-浪速 道

経済優先の日本では、非常識が常識としてまかり通っているという悲しい現実がある。「太陽を直視することは危険である」との定説に、真っ向から異論を唱えた男・飯山一郎さん。彼自らの人体実験が証明してきた驚愕の結果に、読者はきつと固唾を飲むに違いない。2014年、いよいよ太陽と日本人のコラボレーションによるパラダイムシフトが始まる……。

太陽凝視で精神、細胞、
体質、生活が変わった

——太陽凝視を始められた経緯
を教えてください。

飯山 2005年頃、太陽を食べる男・マネクさんをネットで知りましたが、彼は太陽のエネルギーを体内で栄養に転換するので、不食も可能らしいんです。のちに中国の黄山を訪ねたとき、地元では有名な102歳の仙人に偶然に会えたのですが、彼は座禅しながら太陽を見ていました。仙人は霞を食べると言われますが、もしかすると霞でなくて、太陽エネルギーを栄養にしているのかもしれないと思えたんです。でも、日本の医学常識では、太陽を見ると失明の危険がある、紫外線は良くないなどと言われてきて、私もそう信じていました。3・11の震災以後、それまでの常識を徹底的に見直す「パラダイムシフト」の必要性を提唱し続けていくなか、太陽が危険だというのなら、逆に見てみようじゃないかと思ったわけです。

——医学常識で危険と言われる太陽凝視に、不安はありません

でしたか。

飯山 分子生物学の分野まで考えた上で始めたので、不安はなかったです。医者はこの分野をほとんど知りませんから。「これは間違いなく身体に良い！ 医者者の説は間違っている！」と絶対に信じて疑いはもたなかった。実験には疑念が付きものですが、物事を始めるときに、テストしてみても良かったらやってみようというのには、必ず失敗します。だから、私の太陽凝視は実験ではなくて、実行であり実践です。でもね、不思議なことに精神、細胞、体質、生活が変わって、私の存在自体が以前とはガラリと変わってしまったんですよ。それから大切なことは「太陽凝視は身体にプラスになる！」と自分でやること。そうすると、本当にプラスになります。不食への過程で太陽凝視をされたライトワーカーのRealizeちゃん(小誌47号に記事掲載)も語っていたように、太陽凝視はまさにスピリチュアルな世界。科学的な裏付けのある、上っ面ではない本物のスピリチュアリティが、これからの時代の最先端を行くであ

ろうし、今後の役割はとても重要だと思いますね。

——太陽凝視を実践されて、どんな身体の変化がありましたか。

飯山 メラトニン、β-エンドルフィン、セロトニンなどのホルモンが生成されると知識では知っていましたが、実験中は実際に眠くなります。これはメラトニンの効果です。20分を目標に凝視を始めたのに、途中でいつの間にか寝てしまって爆睡。深い睡眠をとれる分、夜の睡眠時間は少なくて済む。それから、気持ちよくなって愉快になりますね。これはβ-エンドルフィンやセロトニンの効果です。「太陽光線は危険だなんていう常識を何十年も信じ込んできた俺ってのは馬鹿だったな」と、自分を笑う別の自分が生まれ、その2人の精神的な会話が脳内で始まってしまふ。自分を客観的に観察しているもうひとりの自分が出現したわけです。これは精神的にはとても大きな変化です。昔から気性が激しくて短気だったのに(笑)、いまでは毎日瞬間瞬間が至福感に満たされていますね。それから、アナスタ



シア『アナスタシア』に描かれている、叡智と超能力を備えた女性)ではないけど、テレパシーが使えるようになったような気がしますね。肌も始めた頃はよく焼けたのに、途中から焼けなくなっていました。

松果体が活性化すると人の意識が覚醒する

——飯山さんは、太陽凝視の秘密を世界で初めて解明されたそうですね。

飯山 脳のと真ん中にある松果体(第三の目)は、グリーンピー

スクらしいの大きさで、不思議な分子構造になっています。ここで、さまざまなスピリチュアルな働きを促すホルモンが生成されます。これは私の仮説ですが、松果体の細胞構造が、強烈な光のエネルギーを分散したり弱めるのではないかと思っています。太陽を見つめる瞬間、人間の瞳孔がカメラのレンズの絞りのように精密に働いて、吸収する光がグッと弱まる。それでも、光は細くなった瞳孔から奥に射し込んで網膜に直射します。ところが驚くことに、網膜と視床底部

くモノロー官く松果体の各細胞の表皮粘膜構造が、凸面鏡になっている。つまり、拡散作用があるんです。拡散した光が拡散現象を繰り返しながら奥に到達するまでの間に、適度に柔らかくて、人間の身体に支障を与えない波動だけになっていく。光は波ですから。程良く弱められた効果的なエネルギーを、細胞たちが利用している。これが太陽凝視の秘密なんです。

——日本では、常識が非常識と思えることがとても多いように思えるのですが。

飯山 太陽凝視にも、人為的なものが感じられます。松果体が活性化すると、人の意識が覚醒してしまいますから。いまの日本社会では、人々の思っていることやっていることの大部分が、間違いと言っても過言ではないでしょう。

——この厳しい環境下の日本において、太陽には神秘的な可能性を感じるのですが。

飯山 いまや、放射能で人が死んだと言うことはタブーです。大手マスコミはコントロールされているから、ニュースにもならない。今後の日本人の死は、騒ぎにもならず静かに死んで

いくことであり、気がついた時には激滅しているでしょう。国家が国民を救わないのなら、自己防衛しかありません。私

が たったの2カ月でこれだけ変化してしまった太陽凝視の効果は、想像以上に大きかった。生命の根底には太陽があるということが、しっかりと認識することが大切です。日中に働いている人でも、昼食を抜いて空いた時間に、凝視しなくとも、少しの間太陽を見るだけでもいいと思います。それだけでも精神的な何かを感じ取ることができそうです。日常生活のちょっとした時間を活用するだけで、スピリチュアルを実感できてしまう、プチ太陽生活。これから流行るかも知れませんね(笑)。

飯山一郎 Ichiro Iiyama

1946年栃木県生まれ。立教大学卒業。元上海鉄道大学教授。微生物を使った污水处理技術の世界的権威。1999年に開発したグルンバエンジンで乳酸菌・発酵菌の大量培養法を確立。HP【飯山一郎のLittle HP】は累計で5000万アクセスを突破。政治経済社会のさまざまな問題に対する適確で鋭い分析は、国内外で評価が高い。一貫して真実の情報を常に発信し続けるその崇高な人間性には、共鳴する人々が後を絶たない。日本の守護神、日本の良心・最後の砦として、その活躍に期待がかかる。飯山一郎のLittle HP
<http://grnba.com/iiyama/>
 文殊菩薩
<http://iiyama16.blog.fc2.com/>